



子どもたちに夢と希望を育む図書館を！

# ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ 図書館サポート募金



写真: 図書館員による絵本の読み聞かせ (メラ難民キャンプにて)

©川畑 嘉文

1945年に第二次世界大戦が終結し、ビルマ(現ミャンマー)から日本軍が撤退すると、英国に再度統治されましたが、1948年1月にはビルマ連邦として独立を果たし、政府と憲法が作られました。しかし、それらはカレン族を始めとする少数民族が排他的な扱いを受ける内容になっていたため、独立の翌年1949年にビルマ政府軍と少数民族軍との紛争が始まります。この紛争は、カレン州、カレニー州内で様々な人権侵害を引き起こし、多くの人々が国境を越えて難民としてタイへ逃れてきました。1984年に難民キャンプがタイ国境に設置されて以降、さらに多くの難民が流入し、一時、難民キャンプの人口は15万人を越えるまでに増加しました。近年では、第三国定住や難民の自発的帰還も進みましたが、未だに約11万人の人々が9カ所難民キャンプで生活をしています。

タイ国境で厳しい生活を送る難民の人々の文化を尊重し、子どもたちに「新しい感動の機会」と「未来への希望」を提供する図書館活動に、ぜひご協力をお願いいたします。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

電話 03 (5360) 1233 FAX 03 (5360) 1220

<http://www.sva.or.jp> Email: [info@sva.or.jp](mailto:info@sva.or.jp)

## ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ 図書館サポート募金とは？



### 【事業の概要】

シャンティは2000年より、カレン族の7カ所の難民キャンプで21館の図書館を建設・運営しています。図書館は、子どもと大人も使えるように、子どもの部屋、大人の部屋、図書館員室を設けています。カレン語、ビルマ語の本を1,000冊以上を配架し、図書館員は難民の中から選び2~3人採用します。開館前に図書館員養成研修を実施し、開館後も定期的に図書館活動に関する研修を行います。図書館では、図書の閲覧、読み聞かせのほか、絵画・工作・折り紙などの文化学習活動、子どもの日、母の日などに合わせたイベントも開催しています。



図書館員育成研修会での読み聞かせ練習

### 【図書館が大好き！】

僕は友達と毎日図書館で本を読んだり、歌ったり、いろいろな遊びをしています。将来はお医者さんになって両親や病気の人を助けたいです。



ソー・エ・ク・シーさん  
メラウ難民キャンプ、5年生 10歳

### 【事業実施の流れ】

事業計画書のご提案



支援金のご入金



難民キャンプでの図書館活動の実施

図書館員の育成研修会  
絵本の出版・配架  
移動図書館活動、伝統文化活動等



ご支援者様への報告書の提出

### 【ご支援額】 図書館1館：80万円

図書購入費、図書館員育成研修会費、図書館活動に使用する備品・教材作成費、図書館の小規模修復費、キャンプからキャンプへの移動車両費などを含みます。

### 【お振込先】

1) 郵便振替 \* 郵便振替手数料免除

郵便口座：00150-9-61724

口座名：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

\* 郵便振替用紙の備考欄に「ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ図書館サポート募金」とご記入ください。

2) 銀行口座からのお振込の場合にはご一報ください。

3) カード決済をご利用の方はシャンティのHPをご覧ください。

### 【所得税及び法人税の優遇措置について】

当会は特定公益増進法人です。募金は所得税及び法人税上の優遇措置が適用されます。

\* 詳しくは、弊会東京事務所ミャンマー(ビルマ)難民事業担当までご連絡ください。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会(SVA)

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

電話 03 (5360) 1233 FAX 03 (5360) 1220

http://www.sva.or.jp Email: info@sva.or.jp